

第4回 防災に関する市町村支援方策に関する有識者懇談会 議事要旨

日時：平成29年2月16日（木）10:00～12:00

場所：中央合同庁舎第3号館水管理・国土保全局A会議室

○委員意見を踏まえた取組事例や検討状況

- ・ 災害復旧支援業務のような支援を個別に契約をするのは大変。災害復旧・改良復旧など、様々な復旧方法があるため、トータルにみたマネジメント力が求められるのではないかと。

○大規模災害時の市町村支援の方向性

- ・ 提言(案)の P.6 の技術職員の減少や個々の市町村では災害を経験する機会が少ないといったことは非常に重要な話なので表やデータを交えてもっと強調した方がよい。
- ・ 提言(案)の P.2 の熊本地震に関する記述で「その後も」とあるが、表現を適切に修正。
- ・ 提言(案)の P.4 の「東日本大震災」は地震名ではなく災害名なので H23.3 の表記は不適切。
- ・ 受援態勢について個別の支援は記載されているが、受援態勢のルール作りを市町村にわかりやすくするため明確化することも必要なのではないかと。もしくは、リエゾン派遣や TEC-FORCE 派遣、都道府県の派遣等の災害初期や被災後の一連の支援の流れをメニューとして示すことができないかと。
- ・ 市町村の電子データ化を進めるために平時からサポートできる支援があればこの問題についてももっと解決が図れるのではないかと。
- ・ 技術職員の減少や個々の市町村では災害を経験する機会が少ないといったことは非常に重要な話なので表やデータを交えてもっと強調した方がよい。
- ・ いきなり災害復旧事業段階からの課題になっており、災害初動期における課題を盛り込む必要がある。
- ・ 経験者の活用とともに地域防災マネージャーの活用についても記載をしておいた方がよいのではないかと。
- ・ 提言(案)の項目「民間事業者等の情報活用の仕組み整備」について、平常時の利用も含めというように、災害時のみに限定した表記にしない方がよい。
- ・ 提言(案)の項目「民間技術者の災害初動対応への理解」の表題の所に「発注者への」という言葉を追加してほしい。

- ・九州の建コン協において災害時に平常業務を延長してもらい災害対応にあたったが、すべて個別の企業で発注者と対応したため、広く理解してもらえる仕組みがあれば助かる。
 - ・提言(案)の項目「地方公共団体の負担軽減のための発注方式の活用」に事業促進 PPP についても加えてほしい。また、最後を検討でなく活用してほしい。
 - ・提言(案)の項目「包括協定の効果拡大」について表題を「災害協定の締結促進」に変えるなど災害協定の中に包括協定と個別協定があるという整理にしてほしい。
 - ・発注方式のところに災害初期における随意契約の話についても触れておいて頂けるとありがたい。
-
- ・発注方式については **CM** の業務などは個別協定との関連性も深いのもっと近づけて記載した方がよいのではないか。
-
- ・市町村の入札は直轄とは異なり総合評価の導入も進んでなく、地域要件も異なり、競争性も異なるなど条件が違っている。そのため直轄とは違う課題・特性があることを考慮する必要がある。
 - ・東日本大震災時の **CM** や事業促進 PPP、熊本地震時の **ECI** の導入など地域毎の特性や課題によって発注方式が選択されているはずなので、それらの事例や教訓について整理した方がよい。また、最近の災害において新たな発注方式の検討の有無やその検討内容についてもまとめておいた方がよい。
-
- ・受援の仕組みは全ての防災業務に絡む話のため、国土交通省のみの対応でできるものではない。国と国土交通省という表現があるがそのあたりも意識して気をつけて表現した方がよい。
 - ・基本方針において、市町村の災害対応への役割がグループ③の破局的な災害において必要となっているが、グループ②における役割（市町村の将来計画、住民対応としてきめ細かい復旧）も整理した方がよい。
 - ・市町村の実行力を高めるための支援については、いきなり支援から入っているが、本来、市町村の技術者養成が一番に来るべきではないか。
 - ・他の地域で他業務を抱えている際の派遣については、課題と対応方針の工夫をした方がよい。
 - ・提言(案)の項目「被災地で連携して災害対応を実施する仕組みづくり」の最後の「である」は不要。
-
- ・今の災害対応力がそのまま続いていくわけではなく、今後何もしなければもっと力が落ちていくことがわかるように表現した方がよい。

- 検討の中で根の深い課題も出ており、今後継続的に検討が必要な分野もある。委員が挙げる問題もその一つではないか。水防災の地域協議会との関係などについてもこれまではあまり議論されていない。
- いただいた意見についてはできる限り反映させていただく。懇談会としては今回は最終回となるので、最終的なとりまとめに関しては、座長一任とさせていただきたい。各委員においては、熱心なご審議、ご議論をいただきありがとうございました。